

# メータオ・クリニック支援の会 (JAM) 会報メール 第18号 [2010年3月号]

メータオ・クリニック支援の会 (JAM) 支援者の皆様

いつもご支援していただき、誠にありがとうございます。  
JAM 会報メール第18号をお送りします。

JAM は2008年3月に発足されたNGOです。ビルマ/ミャンマーからタイへ貧困や戦火を逃れてきた人々の病院、メータオ・クリニックの活動を支援する目的で設立されました。

支援者の皆様へ JAM の最新の活動を毎月中～下旬ごろ、会報メールにて発信いたします。  
今後ともどうぞよろしく願いいたします。

## <目次> [ページ]

[会員更新のお知らせ](#) [2]

[ロゴマークの募集を開始しました!](#) [3]

[メソト・マンスリー](#) 今月のメソトの様子をお知らせします。 (田辺 文)

- ・ [メータオ・クリニック 21周年を迎える](#) [4]
- ・ [きょうのゆめ](#) [5]
- ・ [傑作表現](#) [5]

## [国内から](#)

- ・ [写真展のご案内](#) [6]
- ・ [徒然なるままに](#) (田畑 彩生) [7]

[編集後記](#) [8]

[次号の予定](#) [8]

## 会員更新のお知らせ

### 2009年1月～3月までに賛助会員となられた皆様へ

1年間JAMの活動を応援してくださり、誠にありがとうございました。  
皆様の会費と寄付に支えていただき、私たちはメータオ・クリニックの院内感染予防活動および移民学校における保健活動等、事業を展開することができました。  
今後も現地の保健医療サービスの向上により、ひとりでも多くのビルマ/ミャンマーの人々が心身ともに健康的に生活することができるよう、尽力してまいります。  
引き続きJAMの活動をご支援いただきたく、ご賛同いただける方は会員更新の手続きを宜しくお願い申し上げます。

なお、更新を希望されない方につきましては手続きは不要です。  
またご支援いただける機会をお待ちしております。



JAM が支援する Hope School の校舎。  
外壁などの改修と机の寄付を行いました。

### 賛助会員 更新手続き（年会費入金）の方法について

#### ■更新手続きの対象となる方

2009年1月～3月までに賛助会員となられた方

#### ■対象となる方で更新を希望される方は下記年会費を郵便振込先へご入金ください。

##### <年会費>

一般会員：3,650円/年  
学生会員：1,825円/年  
法人会員：36,500円/年

##### <振込先口座>

銀行：ゆうちょ銀行 [金融機関コード：9900]  
店名：〇〇八 店（ゼロゼロハチ店） [店番：008]  
口座番号：普通 2577010  
口座名義：メータオ・クリニックシエンノカイ  
※ 当会が入金の確認をもって手続き終了となります。  
※ メールにて更新手続きの完了をお知らせいたします。



院内で患者さんの搬送や食事作りを担当するスタッフへ感染予防の基礎を講義しました。



Hope School の様子。  
子どもたちの笑顔が未来へと続くためにJAMは活動します。

#### ■入会についての注意事項

- ・会員の有効期間は、入金日から1年となります。
- ・住所、氏名、メールアドレス、振込名義に変更がある場合は下記の事務局までご連絡ください。

#### ■更新期限 **2010年4月30日まで**

- ※ 今回、更新の対象となる方で更新手続きのない場合、会報の配信は4月で終了します。
- ※ 期限を過ぎてから入会する場合は、ホームページより新規の方法でお手続きくださいますようお願いいたします。

メータオ・クリニック支援の会 Japan Association for Mae Tao Clinic (JAM)  
日本事務局宛てEメール： [question@japanmaetao.org](mailto:question@japanmaetao.org)  
ホームページアドレス： [www.japanmaetao.org](http://www.japanmaetao.org)

ロゴマーク募集を開始しました!!

【東京＝岡谷賢孝】

メータオ・クリニック支援の会は、**3月1日よりロゴマークの募集を開始**しました。

そこで今回は、入賞作品に名前を冠している、Dr. Cynthia と Thar Win 氏をご紹介します。

◆Dr. Cynthia Maung について



ドクター・シンシア・マウン。メータオ・クリニック代表。

1959年12月6日生まれ。カレン族。

1989年、クリニックを設立。以来、20年にわたって多くのミャンマー人難民・移民労働者らに、無償で医療を提供。

ドクター・シンシアは、その功績により、多くの国際的な人権賞や平和賞を受賞。2005年には、ノーベル平和賞にもノミネートされる。クリニックの開放的で温かな雰囲気は彼女とその支援者らの性格によるところが大きい。

好きな言葉は、“Diversity in Unity”（多様性のある一体感）。

◆Thar Win について

ターウィン。学校保健チームのプログラム・マネージャー。

1975年、カレン族とパオ族の両親の元に生まれる。

2003年よりクリニックで学校保健活動に従事。

移民や彼らの子どもたちの人口増加対策に取り組む彼の貢献は非常に大きい。英語、タイ語、ビルマ語、カレン語を流暢に話す。彼が非常に限られた教育機会の中でこれを達成しているのは驚きである。

好きな言葉は、“Healthy School Healthy Community”



会報と一緒に送りましたpdfファイルにこれまでにご応募いただいた作品を紹介させていただきます。ぜひ、ご覧ください。

**締め切りは、5月15日**です。皆様のご応募をお待ちしております。

募集要項、詳細につきましては、当会ホームページもご覧ください。

<http://www.japanmaetao.org/>

【応募先およびお問い合わせ先】

〒162-0823 新宿区神楽河岸1-1 東京ボランティア市民活動センター メールBOX No.52

E-mail : [support@japanmaetao.org](mailto:support@japanmaetao.org) (ロゴ募集企画 担当：岡谷)

メソト・マンスリー

今月のメータオ・クリニックの様子をお届けします。

【メソト（タイ北西部）＝田辺文】



## メータオ・クリニック 21周年を迎える

今年2月でメータオ・クリニックは21周年を迎えました。  
21周年に際して院長のシンシア医師より表明された言葉をお伝えします。

毎年、タイ・ビルマ/ミャンマー国境の人々はその人数と複雑さを増していきます。

メータオクリニックは軽疾患の対処と、重症患者の転送を目的に始まりましたが、今後は複雑な国境の公衆衛生や社会と医療の問題に対応していくことが求められます。例えばこの国境の薬剤耐性結核の問題は、私たちだけでは解決し得ない公衆衛生の大きな課題となっています。また、国境地域に増加しつつある移民は、私たちだけの努力では対応しきれない大きな教育問題と社会問題を課しています。

メータオ・クリニックは、地域組織や国際組織との強い連携を模索しています。そして、これからもコミュニティーで活躍する医療の専門家たちを育てて行きます。私たちのソーシャルサービスの一環である心理的な問題や教育の問題に対する取り組みは今後とも広がっていきます。

メータオ・クリニックは、コミュニティーの今後も見据えています。以前、ビルマ国内の民族組織の結束は固く、医療と教育、そしてソーシャルサービスをも担っていましたが、それは軍政化によって打ち壊されました。これは戦闘によってだけではなく、土地など資源の、軍政による組織的な統制によって為されました。強制移動、生活の糧の喪失、軍による徴兵・・・こういったものすべてがコミュニティーを砕きアイデンティティーを失わせたのです。

前に進むには、教育と社会の変革、そして地元の組織とコミュニティーの連携が必要です。もしこの国境地域で市民社会とコミュニティーが強化されれば、いつか可能になった時、ビルマ国内で市民社会を作り直す力になっていくことでしょう。

政治家だけでなく、女性、子どもたち、労働者、すべてが声を上げる必要があります。

最後に、若い人たちは、私たちの未来のリーダーであることを付け加えたいと思います。メータオ・クリニックの遺産は、治療を受けた大勢の患者さんであると考えられています。しかし、私たちの遺産は強い市民社会であり、リーダーになるべく力つけられた若者たちであって欲しいと思っています。



(写真：式典でのシンシア・マウン医師)

## きょうのゆめ

今日は、 コ・ラ・テーちゃん 9歳 です。



カレン州から5年前に移住してきました。  
今は New Blood 移民学校に通っています。  
お父さんは花を摘む仕事。  
お母さんはその花を売る仕事をしています。  
お兄さんはタイに来る前に亡くなりました。  
妹が3人います。

将来のゆめは・・・ゆめって言われても・・・やりたい仕事は・・・  
どんな仕事でもいいです。  
たぶん、日雇い労働者になると思います。

「きょうのゆめ」を書いていると、ここの子どもたちからゆめを聞き出すのはとても難しいことに気づきます。  
うっとりするほどきれいな澄んだ目の女の子。おとうさんとおかあさんと妹たちを助けていくのでしょ。

## 傑作表現

～ブログ Borderless Border's より～

ビルマの子どもは  
目がぐりぐりで愛くるしいです。  
もちろんシンプルな顔の日本の子どももかわいいです。

なんだか子どもがかわいく見える。  
私も大人になったものです。  
それはいいとして・・・

かわいくてかわいくて  
ああ、もうたべてしまいたい。

そんなたまらん気持ちを表す傑作ビルマ語表現・・・。

## 「肝臓がかゆい・・・！」

肝臓がかゆいかゆいといいながら、  
子どものおしりをぱちぱち叩いているメータオ村の村人をよく見かけます。

かわいくてかわいくてちょっといじめちゃう・・・ってところでしょうか。

そんなこと話してたカレン人のキュートな女性は  
「だんながかわいくてかみついちやったの。腕時計みたいな歯型がついた・・・」  
と話していました（!!!）

### <おまけ>

ちなみに「失恋」は、ビルマ語で「肝臓が割れる」と言います。（2月号参照）

・・・なぜ肝臓？

★★ 現地での活動を日々、更新中です！ ★★ ぜひ、ご覧ください。  
**Borderless Border's (田辺文のブログ)** <http://www.japanmaetao.org/blog/borderless/>

メータオ・クリニック支援の会ホームページにアクセス ⇒  
活動・レポート・PR方法 ⇒ 「現地からのレポート」 Borderless Border's

国内から

## 写真展のご案内

当会ホームページにも写真を提供してくださっている写真家の渋谷敦志さんが  
写真展を開催します。

### 写真展『 明日があるから -国境に生きるビルマ難民は今- 』

期間：2010年4月3日(土)～14日(水)

会場：新宿コニカミノルタプラザ（東京都新宿区新宿3-26-11 新宿高野ビル4F）

アクセス：JR 新宿東口、地下鉄丸の内線「新宿駅」A7 出口から徒歩1分  
（フルーツの新宿高野の4Fです）



尚、4/7(水)18時から、アジアプレス代表の野中章弘さんを迎えてギャラリートークもあります。

キャンプの写真ですが JAM が支援している現地の雰囲気が伝わるとと思います。ぜひ、お立ち寄りください。

コニカミノルタプラザのホームページ

[http://konicaminolta.jp/plaza/schedule/2010april/gallery\\_b\\_100403.html](http://konicaminolta.jp/plaza/schedule/2010april/gallery_b_100403.html)

## 徒然なるままに・・・

【東京＝田畑彩生】

はじめまして。

今回の担当は、日本事務局の会計を担当させて頂いております、田畑彩生です。

国際医療センターで看護師2年目奮闘中です。

暖かくなってまいりましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？

### はじめに

上の写真はタイで撮ったお気に入りの写真です。

私が着ている服ですが、下の青い縞々なものは「ロンジー」というミャンマー／ビルマの民族衣装です。布を巻くだけのスカートで、とっても楽ちんです。

上のシャツはカレン族特有のデザインの民族衣装です。前も後ろもVネックのカットで、しわにはならないし、汗は良く吸うし、びっくりする程あつという間に乾きます。日本でも夏には良く着ています。もう手放せません(笑)。

ちなみに、私の横にある緑色のとげとげした実はジャック・フルーツと言って、大きなミカンです。意外にパッサパサでした。



### 国際協力を目指したきっかけ

私が国際協力を目指したのは、小学校三年生の授業で見たアフリカ・ルワンダでの紛争の写真がきっかけです。自分の知らない世界がその写真の向こうには広がっていました。

その写真を見て、自分もこの人たちのそばに行き、何かできることをしたいと思いました。この思いが今の自分の原点であり、私を支える力となっています。

### シンシア先生との出会い

2007年の夏に、ミャンマー／ビルマとタイの国境地帯を訪れました。その時にメータオ・クリニックを訪れたことが私とクリニックの出会いです。そこで院長のシンシア先生にお会いしました。彼女は院長先生でありながら、気さくで、海のように深い大きな女性だという印象を受けました。

メータオ・クリニックは私が想像していた国境地帯の病院とは全く異なっており、衝撃を受けました。病院は外来・入院ともにたくさんの患者さんを受け入れており、これで病院が成り立つのかと不思議なくらい多くの人でごった返していました。

スタッフも肌の色も国籍も年齢も異なる人々で構成されていて、診療科も多岐に渡っていました。





